

## World News

### ロケット関連ニュース

#### 1 .Arianespace 社は、Eumetsat 社の MSG 3 打上げ契約を受注

Arianespace 社は12月17日、Tillmann Mohr、Eumetsat の総裁、および Jean-Yves Le Gall Arianespace の最高経営責任者は、パリの ESA 本部で12月17日、MSG 3 気象衛星の打上げ契約に署名した事を発表した。

また ESA 協議会の議長 ジーンジャック Dordain および ESA の Tegner 総裁でも同席しました。MSG 3 の打上げは、2009 の上半期に、Ariane 5 ロケットを使って Kourou、Guiana の Guiana 宇宙センターから打上げられる予定である。MSG 3 は、Eumetsat がヨーロッパ政府間組織に打上げを任せる 9 番目の衛星です。Arianespace はすでに MSG 2 衛星を打上げを契約しており 2005 の第 1 四半期に打上げを予定されている。

Jean-Yves Le Gall Arianespace の最高経営責任者は、「この契約は、もう一度 Ariane 打上げシステムの、ヨーロッパの重要なオペレータの信頼を実証すると共に、宇宙へヨーロッパ独自のアクセスの保証も象徴する事になります。Arianespace は、ヨーロッパおよび世界へ Eumetsat により提供される気象予報サービスの連続性を保証するその役割へのサービス提供を特に誇りに思っています。」とコメントした。

また、Tillman Mohr Eumetsat 総裁は「この契約によって、Eumetsat は、すでに最適条件の下に7つの Eumetsat 人工衛星を上げた Arianespace への我々の信頼とヨーロッパ宇宙政策のその支援を確認しました」

と述べた。Alcatel Space カンヌ工場で製造される MSG 3 は打上げ重量、約 2000kg で15分毎に気象イメージデータを送信する能力がある。

- Ariane 2003.12.17 プレスリリース 記事 -

#### 2 .Starsem と Arianespace は、Amos2 通信衛星打上げに成功

Starsem 社、および Arianespace 社は、2003 年12月28日イスラエルの通信衛星 Amos2 を Baikonur 基地から打上げ、軌道に投入する事に成功したと発表した。Soyuz ファミリーロケットの(Soyuz-Fregat バージョン)の1,684番目の打上げは、カザフスタンの Baikonur 宇宙ロケット発射基地から12月28日午前2時30分(現地時間)に打上げられた。



Amos2 打上げ Photo Ariane Space 提供

Starsem、Arianespace、およびそれらのロシアのパートナーは、Fregat 上部フェアリング内の Amos2 衛星を、目標軌道に正確に投入された事を確認した。これは、Soyuz の最初の GT0 投入ミッションである。Amos2 衛星をその打上げ6時間45分後に、GT0 軌道に投入された事を確認した。イスラエル航空機産業の (IAI) 要求に従うために、

Arianespace と Starsem は、イスラエルのオペレータ Spacecom Ltd. との協定において最初、Ariane 5 により打上げを計画されていたが、Amos2 衛星は顧客のニーズを満たすために、Arianespace と Starsem により設定された方針を反映し Soyuz 打上げロケットにより実行された。

今日の打上げは Starsem によって実施された 12 番目の打上げであり、それはそのオペレーションだけでなく Soyuz の国際市場における責任でもある。Starsem の株主は、Arianespace、EADS、Russian Aviation and Space Agency で、Soyuz 打上げ成功は、ロシア打上げチームの有用性だけでなく Samara 宇宙センターの産業の機能をアピールした。1996 年に、Arianespace はすでに最初のイスラエルの通信衛星、Amos1 を打上げている衛星は MBT スペース部門により設計され、IAI で製造された。打上げ重量 1374kg である。

- Ariane 2003.12.28 プレスリリース 記事 -

### 3. ILS は NRO(米国 国家偵察局)衛星を ATLAS IIAS で打上げに成功

VANDENBERG 空軍基地、カリフォルニア、から 12 月 2 日午前 2 時 04 分太平洋標準時(10 時 04 分グリニッチ標準時)に ATLAS IIAS ロケットで NRO 衛星の打上げに成功し、74 分後で静止転移軌道にリリースした。打上げ業務は、McLean, Va. - 本社の国際打上げサービス (ILS) によって Vandenberg 衛星打上げ射場のコンプレックス 3E で実施された。この AC-164 ロケットは、今年の 4 回目の Atlas ロケットの打上げで、67 番目の連続成功の Atlas フライトになる。また、ILS 社として 5 番目の Atlas ミッショ

ンである。ILS 社 Mark Albrecht 社長は「ILS は、我々国家の安全保障強化の主要な役割を担当した事に誇りを持つと共に、現在迄に 5 機の NRO 衛星を打上げていることを光栄に思っている」と述べた。また、「ILS と Lockheed Martin は、衛星打上げで長い友好関係があり、ミッションの成功に大変誇りに思っている」と発表した。ILS 社は現在、ケープカナベラル、フロリダ、および Vandenberg からの Atlas III と Atlas V ブースターで 2004 年、2005、およびそれ以降の NRO 衛星打上げの準備をしている。Atlas IIAS は 8200 ポンドのペイロードを静止軌道転送軌道に打上げることができる。また、Atlas III は 9920 ポンドを上げることができ、Atlas V は 19000 ポンドを上げる能力がある。最初の米国政府の Atlas V ミッションはワイドバンドギャップファイバー衛星 2 号機で 2005 年に打上げを予定されている。

-Lockheed Martin 2003.12.2 プレスリリース 記事-

### 衛星関連ニュース

#### 1. Orbital 社は OPTUS 社から 2 つの静止通信衛星を受注

Orbital Sciences Corporation(NYSE : ORB) は 12 月 27 日にオーストラリア、シドニーベースの Optus Networks, Pty., から 2 機の通信衛星の製造契約に調印したと発表した。Optus ネットワーク、Pty. は、2 機の通信衛星で、オーストラリアとニュージーランドで Ku-バンド固定通信及び直接衛星テレビ放送サービスを提供することを予定している。この 2 機の衛星は一連の Optus D series の衛星で、Orbital の StarTM

BUSプラットフォームで製作される。8本のバックアップチャンネルを含む24本のトランスポンダを搭載する。

最初のD-1衛星は、約4.0キロワットの発生電力を生成し、2005年第4四半期に打上げを予定されている。D-2衛星は約4.7キロワットの発生電力を生成し、2006年第4四半期に打上げを予定されている。

契約金融の詳細は発表されなかった。

Ali Atia Orbital GEO通信衛星 unit 社長は、「我々の衛星をOptus社が、その衛星シリーズに配備する事を決定された事に感謝すると共に、衛星を予定通り、Optus社のネットワークに納入する。この契約は小型GEO衛星のニッチ市場においてOrbitalの優位性の証拠である。」と喜びを表明した。

-Orbital社 2003.12.17 プレリリース記事-

## 2. Boeing社は11番目のUHF Follow-On 海軍衛星の打上げ成功

Boeing社は12月17日、自社製造の11番目のUHF Follow-On通信衛星が予定軌道に投入された事を発表した。衛星は戦略爆撃機および世界中に展開中の軍隊の安全な通信を提供する。サンディエゴの海軍スペースと海軍戦闘システムコマンド(SPAWAR)に対して製造されたUFO F11衛星は、船舶、航空機、地上移動体間の通信に対し、あらゆる天候地上地形においても通信を可能にする衛星群を支える事になる。衛星の最新UHFデジタル受信機は従来のUHF衛星よりも多チャンネルキャパシティを提供する。3000lb(1364kg)のUFO F11衛星は、Atlas III 打上げロケットで12月17日午後9時30分ESTにケープカナベラル空軍打上げ基地(フロリダ)から打上げられた。

宇宙船は午後10時02分ごろに打上げロケットから分離され、その最初の信号は、ディエゴガルシア島で、合衆国空軍の衛星コントロールにおいて、その後、まもなく、正常なオペレーションを確認しました。

F11は東経172度のGEOに配置される。

Boeingは1988年7月の契約以来、既に10機のUFO衛星を納入した。契約額は、現在おおよそ21億ドルと見積もられている。

-Boeing社 2003.12.17 プレリリース記事-

## 3. Space Systems/Loralは、Telstar14 /Estrela do Sul1衛星を出荷

Space Systems/Loral社は11月24日ロングビーチのSea Launch Home Portに向けてTelstar14/Estrela do Sul1衛星を出荷した事を発表した。打上げは2004年1月初めを予定している。Loral SkynetのTerry Hart社長によれば、Telstar 14/Estrela do Sul1衛星はラテンアメリカにおけるLoral固定衛星通信サービスのバックボーンとして運用される。また、この新しい衛星によって、Loral Skynetはブラジルとラテンアメリカのその顧客に独自適用範囲のパターンを提供するための機能を持ち、ブラジルに対しKu-バンドサービスを提供する最初のブラジルのオペレータとなるとの事である。Telstar 14/Estrela do Sul1衛星は5つの独自および相互接続適用範囲ビームを提供する、51本のKu-Band(36MHz)トランスポンダを搭載している。衛星のパワーの50パーセント以上は、その西経63度軌道スロットから専門のKu-バンドビームをブラジル市場に提供する。衛星の他のビームは、衛星経由インターネット回線で航空機サービスを可能にする(Connexion

by Boeing) でアメリカ大陸と北大西洋をカバーする。衛星は、放送されたビデオ、ケーブルプログラム、インターネットバックボーン接続、VSAT データ、その他の通信サービスなどのビジネスアプリケーションをサポートします。衛星は、太平洋の赤道に置かれた Odyssey 衛星打上げ基地から Sea Launch の Zenit-3SL ロケットにより軌道に打上げられる。

- Loral 社 2003.11.24 プレスリリース記事 -



打上げシーケンス Sea Launch 提供